

## コンテナ・バックアップの実装

以下に示すのは、現在入手可能なベンダー数社によるコンテナ・バックアップへのアプローチである。ここでは、コンテナ・データへのアクセスを提供する製品、エージェント、プラグインなどが含まれる。

■ **Asigra** 同社がDockerバックアップを提供して数年たつ。同社のクラウド・バックアップ製品はDockerのファイル構造を理解した上で連携を行っている。この製品には、Dockerコンテナ上で稼動するクライアント・コンポーネント、DSクライアントが含まれる。

■ **Blockbridge Networks** 同社が現在リリースしている、Docker Volume Driver 4.0はコンテナ・データのバックアップとリストアを行う。この製品には、AWS S3やそれと互換性のある他社プロバイダーにバックアップデータを送る機能が入っている。

■ **Commvault** バージョン11以降から、コンテナ・イメージとコンテナ・データ両方のバックアップをサポートするようになった。コンテナが稼働する各Dockerホストに仮想化クライアントを追加することによって、これを実現している。

■ **NetApp Docker Volume Plugin**はONTAP、SolidFire ElementOS、Eシリーズの各プラットフォーム上で稼働する。スナップショット、クローニングおよび標準ファイルシステム・フォーマットをサポートする外部システムで、作成されたボリュームへのアクセスができる。

■ **Nimble Storage** 今やHPEの一部門を構成するこの製品は、インポート、クローン、スナップショット機能を提供するDockerプラグインを持っている。

■ **Pure Storage** 同社は、DockerとMesosにおいてFlashBlade と FlashArrayを使えるようにするプラグインを持っている。

コンテナ・データがコンテナ・ホスト上のディレクトリを通して提供されていれば、当然そのデータを従来型のバックアップ・プラットフォームを使ってバックアップするのは簡単なことだ。つまり、どんな既存のバックアップ製品でもコンテナ・データのバックアップに使える、ということだ。

注意:ただし、これらのバックアップ製品は、コンテナ・オーケストレーション・プラットフォームとは連携しない。